

平成27年度名古屋大学文学部 推薦入学

試験問題

第2次選考・小論文

11月21日(金) 9:30~12:30

問題冊子 3 枚 (表紙を除く)

答案紙 4 枚

下書き用紙 3 枚

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子と答案紙を開いてはいけない。
2. 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつたら、ただちに申し出ること。
3. 答案紙それぞれの所定欄に受験番号を記入すること。
4. 解答は、答案紙の所定の欄に横書きで記入すること。所定の欄以外または裏面に書いた答案は、無効となる。
5. 答案紙にある得点記入用のボックスには何も記入しないこと。
6. 問題冊子の余白は、草稿用に使用しても差し支えない。
7. 試験終了時刻まで退室してはいけない。
8. 問題冊子は、持ち帰ってよい。

I 次の英文を日本語に訳しなさい。

(著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 WEB ページでの公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、これを削除し、以下のとおり、出典名等を記載することとします。)

(Nicolas Bourbaki, *Elements of the History of Mathematics*, Springer-Verlag, 1994.
一部改変。)

II 次の英文を読み、設問に答えなさい。

(著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本 WEB ページでの公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、これを削除し、以下のとおり、出典名等を記載することとします。)

(“Study: Why Words with Many Meanings Make Language More Efficient,” *TIME*, January 27, 2012. 一部改変。)

1. the language madness の内容を本文に即して 100 字以内で述べなさい。
2. *Cognition* 誌に発表されたマサチューセッツ工科大学チームの研究の概要を 200 字以内で述べなさい。
3. 本文の内容を踏まえつつ、コミュニケーションとことばの関係について、具体例を挙げて 800 字以内で論じなさい。